（様式２）

**【九州北部豪雨災害対策型】**

経営計画書

名　称：

＜応募者の概要＞

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）  名称（商号または屋号） | | |  | | | | |
| 法人番号（13桁）※１ | | |  | | | | |
| 主たる業種※２ | | 業種番号  （2桁or3桁） |  | 業種名称 | | |  |
| 常時使用する  従業員数※３ | | 人 | | ＊常時使用する従業員がいなければ、「０人」と記入してください。  ＊従業員数が小規模事業者の定義を超える場合は申請できません。 | | | |
| 資本金額  （個人事業者は記載不要） | | 万　円 | | 創業・設立年月（和暦） | | | 年　　　月 |
| 連絡担当者 | （ふりがな）  氏名 |  | | 役職 | | |  |
| 住所 | 〒　　－ | | | | | |
| 被災地住所 |  | | | | | |
| 電話番号 |  | | | 携帯電話番号 |  | |
| FAX番号 |  | | | E-mailアドレス |  | |

（全国商工会連合会・補助金事務局からの書類の送付や必要書類の提出依頼等の電話・メール連絡は、全て「連絡担当者」（共同申請の場合は、原則、代表事業者の連絡担当者）宛てに行います。補助金の申請内容や実績報告時の提出書類の内容について、責任をもって説明できる方を記載してください。電話番号または携帯電話番号は必ず記入をお願いします。FAX番号・E-mailアドレスも極力記入してください。）

※１　法人の場合は、法人番号を記載してください。個人事業主は「なし」と明記してください。マイナンバー（個人番号（12桁））は記載しないでください。

※２　公募要領Ｐ.54記載の「業種分類」に基づいて、主たる業種の番号（２桁）、業種名称をご記入ください。（「業種分類」に小分類（３桁）が記載されている業種については３桁まで番号を記入し、業種名称をご記入ください。）

※３　公募要領Ｐ. 32の２．（１）【２】(c)の常時使用する従業員数の考え方をご参照のうえ、ご記入ください。なお、常時使用する従業員に含めるか否かの判断に迷った場合は、地域の商工会にご相談いただけます。

（従業員数が公募要領Ｐ. 32記載の「小規模事業者の定義」を満たす事業者のみ申請できます。）

**【今回公募の対象者であることの確認項目】　※全ての申請者が必須回答です。**

**Ⅰ．所在する地域（①～④のいずれか一つを選択）**

**①（　　　）福岡県朝倉市**

**②（　　　）大分県日田市**

**③（　　　）福岡県朝倉郡東峰村**

**④（　　　）福岡県田川郡添田町**

**Ⅱ．自社における「平成２９年７月九州北部豪雨」の影響（①、②のいずれか一つを選択し、追問に回答）**

**【注：日田市・添田町に所在する事業者は、「①直接の被害あり」に該当する場合のみ応募可能】**

**①（　　　）直接の被害あり**

　　　　　　　→(a)（　　　）上記豪雨により自社の事業用資産が直接被害を受けた事業

者であることを証する公的書類（罹災証明書等）あり

**＊当該公的書類を本紙に添付のこと（写しでも可）**

　　　　　　　→(b)（　　　）上記豪雨により自社の事業用資産が直接被害を受けた事業

者であることを証する公的書類なし

**＊以下の直接被害状況欄を記入し、自社の事業用資産が被害を**

**受けたことがわかる証拠写真を添付のこと（不備の場合は対**

**象外）**

|  |
| --- |
| **直接被害状況欄【上記①－(b)に該当する場合は、必ず記入のこと（写真添付が必須）】**  **＊被害の状況が分かるよう、できるだけ具体的にご記入ください。** |
|  |

**②（　　　）自社の事業用資産への直接の被害はないが、売上減の間接被害あり**

**＊以下の「間接被害状況欄」に記入のこと（不備の場合は対象外）**

|  |
| --- |
| **間接被害状況欄【上記②に該当する場合は、必ず記入のこと】**  **＊上記豪雨による売上減の状況が分かるよう、月間売上額の前年同月との比較な**  **ど、できるだけ数値を用いて具体的にご記入ください。** |
|  |

**Ⅲ．既に公募を終了した「平成28年度第２次補正予算　小規模事業者持続化補助金」【一般型】【熊本地震対策型】【追加公募分】に応募し採択を受けた事業者か否か（①～③のいずれか一つを選択）**

**①（　　　）【一般型】【熊本地震対策型】【追加公募分】のいずれも採択を受けていな**

**い**

**②（　　　）【一般型】【熊本地震対策型】【追加公募分】のいずれかで採択を受けたが、**

**既に、採択辞退や補助事業取りやめ（事業廃止）としているため、補助事業**

**を行っていない**

③（　　　）【一般型】【熊本地震対策型】【追加公募分】のいずれかで採択を受け、補助

事業を行っている

⇒③の場合、この【九州北部豪雨災害対策型】への応募はできません。

（共同申請の参画事業者として採択を受け補助事業を行っている場合や、今回、共

同申請の参画事業者として応募しようとする場合も同様です）

**Ⅳ．補助対象事業として取り組むものが、風俗営業法第２条に該当するか否か**

**（①、②のいずれか一つを選択）**

**①（　　　）該当しない**

　②（　　　）該当する　＊該当する事業の場合は対象外となり、申請できません。

**Ⅴ．【法人のみ回答（必須）】みなし大企業（公募要領Ｐ.56「参考２」）に該当する**

**か否か（①、②のいずれか一つを選択）**

**①（　　　）該当しない**

　②（　　　）該当する　＊該当する事業者は対象外のため、申請できません。

|  |
| --- |
| 1. 企業概要   当店は地域密着型企業として、　　　　年に創業し従業員　　　名で  主に　　　　を対象に　　　　　　　　　　　　を中心に取扱ってきた企業である。  立地環境は　　　　　　　　　　であり、　　　　　　　　である。  今回は九州北部豪雨災害の影響を受け、　　　　　　　　　　　　　　状況である。 |
| 1. 顧客ニーズと市場の動向   これまで当店が取扱いしている　　　　　　　　　　　　は、  （地域・業界）　　　　　　　　　　　　　　の顧客層より一定の評価を受けている。  近年の市場動向では、　　　　　　　　　　　　　　　傾向にあり当社においても今後取り組みたいと考えている。 |
| 1. 自社や自社の提供する商品・サービスの強み   当社はこれまで、お客様ニーズに合わせ　　　　　　　　　　　　　　　　に努力してきたため、　　　　　　　　　　　　　　　　　を求める顧客を中心により支持を得てきた。  今後はその強みである　　　　　　　　　　　　　に更に力を入れて行くため、本補助金事業に取り組みたいと考えている。 |
| 1. 経営方針・目標と今後のプラン   今回の九州北部豪雨災害により、今回　　　　　　　　　　　　　　　の被害を受け、具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　があり困難に陥っている状況である。  今後は販路開拓を行うため、新たに「テーマ　　　　　　　　　　　　　　　　　」に取り組み売上拡大を図り企業存続に取り組みたい。 |

※経営計画書の作成にあたっては商工会と相談し、助言・指導を得ながら進めることができます。

※経営計画書の作成にあたっては商工会と相談し、助言・指導を得ながら進めることができます。

※全ての欄が必須記入です。欄が足りない場合は適宜、行数・ページ数を追加できます。

※記入例は公募要領Ｐ.21参照

|  |
| --- |
| 【記入例・・・文書は自由に整えてください】  １．企業概要  当店は地域密着型企業として、昭和６０　年に創業し従業員　３　名で  主に　市内の病院　を中心に　シーツなどのクリーニングを請け負っていた企業である。  立地環境は　国道に隣接した立地　であり、車での利便性が良い場所　である。  今回は九州北部豪雨災害の影響を受け、クリーニング機械が水没して故障している  状況である。  【追記あれば】 |
| 1. 顧客ニーズと市場の動向   これまで当店が取扱いしている　業者専用のクリーニング　は、朝倉市内の病院・ホテルなどの施設から一定の評価を受けている。  近年の市場動向では、　地域の高齢化と人手不足が進んでいるため、より効率の良い  クリーニング機の導入を行い、作業効率を図る　傾向にあり当社においても今後取り組みたいと考えている。  【追記あれば】 |
| 1. 自社や自社の提供する商品・サービスの強み   当社の強みはこれまで、お客様ニーズに合わせ　迅速できれいな仕上がりになる努力してきたため、質の高い技術力を求める　顧客を中心により支持を得てきた。  今後はその強みである　迅速さ・きれいさ　に更に力を入れて行くため、本補助金事業に取り組みたいと考えている。  【追記あれば】 |
| 1. 経営方針・目標と今後のプラン   今回の九州北部豪雨災害により、今回　工場の水没によりすべてのクリーニング機械が動かなくなってしまい、7月5日以降の売上が0円となり困難に陥っている状況である。  今後は販路開拓を行うため、新たに老人ホームなどの施設などもターゲットに入れ、  「テーマ・・・・・・・・・・・・・」に取り組み売上拡大を図り企業存続に取り組みたい。  【追記あれば】  ※最終的に、ここで記載した内容と持続化補助金で取り組む補助事業の内容がつながるよう意識してください。当社の強み・課題・今後のプランなど |

※経営計画書の作成にあたっては商工会と相談し、助言・指導を得ながら進めることができます。

※経営計画書の作成にあたっては商工会と相談し、助言・指導を得ながら進めることができます。

※全ての欄が必須記入です。欄が足りない場合は適宜、行数・ページ数を追加できます。

※記入例は公募要領Ｐ.21参照

（様式３－１：単独１事業者による申請の場合）

補助事業計画書

**【九州北部豪雨災害対策型】**

名　称：

１．補助事業の内容

|  |
| --- |
| 1．補助事業で行う事業名【必須記入】（30文字以内で記入すること） |
| 2．販路開拓等の取組内容【必須記入】（販路開拓等の取り組み内容を記入すること） |
| 3. 業務効率化（生産性向上）の取組内容【任意記入】  ＊公募要領P.35に該当する取り組みを行う場合は本欄に記入します。特になければ本欄は空欄のままご提出ください。 |
| 4．補助事業の効果【必須記入】 |

※採択時に、「事業者名称」および「補助事業で行う事業名」等が一般公表されます。

※欄が足りない場合は適宜、行数・ページ数を追加できます。

２．経費明細表【必須記入】

（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | 内容・必要理由 | 経費内訳  （単価×回数） | 補助対象経費  （税抜・税込） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| （１）補助対象経費合計 | | |  |
| （２）補助金交付申請額　　　（１）×補助率2/3以内（円未満切捨て） | | |  |

※経費区分には、「①機械装置等費」から「⑬外注費」までの各費目を記入してください。

※補助対象経費の消費税（税抜・税込）区分については、公募要領Ｐ.58参照のこと。

※（２）の上限は、福岡県朝倉市または朝倉郡東峰村に所在する事業者は１００万円、福岡県田川郡添田町または大分県日田市に所在する事業者は５０万円。

３．資金調達方法【必須記入】

＜補助対象経費の調達一覧＞　　　　　　　　＜「２．補助金」相当額の手当方法＞(※３)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 金額（円） | 資金  調達先 |  | 区分 | 金額（円） | 資金  調達先 |
| 1.自己資金 |  |  | 2-1.自己資金 |  |  |
| 2.持続化補助金（※１） |  |  | 2-2.金融機関からの借入金 |  |  |
| 3.金融機関からの借入金 |  |  | 2-3.その他 |  |  |
| 4.その他 |  |  |  |  |  |
| 5.合計額  （※２） |  |  |  | | |

※１　補助金額は、２．経費明細表（２）補助金交付申請額と一致させること。

※２　合計額は、２．経費明細表（１）補助対象経費合計と一致させること。

※３　補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、ご記入ください。

**（１．から３．の各項目について記載内容が多い場合は、適宜、行数・ページ数を追加できます。）**

（様式３－２：複数事業者による共同申請の場合）

**【九州北部豪雨災害対策型】**

補助事業計画書

代表事業者名称：

１．補助事業の内容

|  |
| --- |
| 1．補助事業で行う事業名【必須記入】（30文字以内で記入すること） |
| 2.販路開拓等の取組内容【必須記入】 |
| 3. 業務効率化（生産性向上）の取組内容【任意記入】  ＊公募要領P.35に該当する取り組みを行う場合は本欄に記入します。特になければ本欄は空欄のままご提出ください。 |
| 4．共同事業について【必須記入】  （１）共同で事業を実施する必要性  （２）共同事業における参画小規模事業者の役割・取組（全ての参画事業者について記  入し、体制図も記載すること） |
| 5．補助事業の効果【必須記入】 |

※採択時に、「事業者名称」および「補助事業で行う事業名」等が一般公表されます。

※欄が足りない場合は適宜、行数・ページ数を追加できます。

２．経費明細表【必須記入】

＜個別の経費明細表＞※共同申請の場合は事業者ごとに、作成してください。

【代表事業者名称：　 　　　】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | 内容・必要理由 | 経費内訳  （単価×回数） | 補助対象経費  （税抜） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 補助対象経費小計額 | | |  |

※経費区分には、「①機械装置等費」から「⑬外注費」までの各費目を記入してください。

【参画事業者名称（１者目）：　　　　　　】　 　　 （単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | 内容・必要理由 | 経費内訳  （単価×回数） | 補助対象経費  （税抜） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 補助対象経費小計額 | | |  |

※３者以上の共同申請であれば、適宜、参画事業者の経費明細表を追加し記入してください。

※経費区分には、「①機械装置等費」から「⑬外注費」までの各費目を記入してください。

＜経費明細総括表＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業者名 | 補助対象経費小計額 | 補助金交付申請額 |
| 代表事業者名称： |  |  |
| 参画事業者名称（１者目）： |  |  |
| 合　計 |  |  |

※３者以上の共同申請であれば、適宜、経費明細総括表の行数を増やして記入してください。

※各事業者の経費明細表の補助対象経費合計と一致するように記載してください。

※本事業全体の経費支出を記載してください。

※各事業者の補助金交付申請額は、補助対象経費小計額の３分の２以内（円未満切捨て）です。

※経費明細総括表に記載する補助金交付申請額の合計額の上限は、複数の小規模事業者による共同実施の場合は、以下のとおりです。

　　（１００万円×朝倉市・東峰村の小規模事業者数）＋（５０万円×添田町・日田市の小規模事業者数）

＊ただし、最高５００万円まで（朝倉市・東峰村の小規模事業者を１者以上含む場合は１，０００万円まで）

※補助対象経費合計額の３分の２が、当該共同申請全体の補助上限額を超える場合、各事業者の補助金交付申請額は、全ての事業者の補助率が同じになるように、各事業者の補助対象経費小計額に応じて、按分して算出します。

３．資金調達方法【必須記入】

【代表事業者名称：　　　　　　　】

＜補助対象経費の調達一覧＞　　　　　　　　＜「２．補助金」相当額の手当方法＞(※３)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 金額（円） | 資金  調達先 |  | 区分 | 金額（円） | 資金  調達先 |
| 1.自己資金 |  |  | 2-1.自己資金 |  |  |
| 2.持続化補助金（※１） |  |  | 2-2.金融機関からの借入金 |  |  |
| 3.金融機関からの借入金 |  |  | 2-3.その他 |  |  |
| 4.その他 |  |  |  |  |  |
| 5.合計額  （※２） |  |  |  | | |

【参画事業者名称（１者目）：　　　　】

＜補助対象経費の調達一覧＞　　　　　　　　＜「２．補助金」相当額の手当方法＞(※３)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 金額（円） | 資金  調達先 |  | 区分 | 金額（円） | 資金  調達先 |
| 1.自己資金 |  |  | 2-1.自己資金 |  |  |
| 2.持続化補助金（※１） |  |  | 2-2.金融機関からの借入金 |  |  |
| 3.金融機関からの借入金 |  |  | 2-3.その他 |  |  |
| 4.その他 |  |  |  |  |  |
| 5.合計額  （※２） |  |  |  | | |

※１　補助金額は、２．経費明細表「補助金交付申請額」と一致させること。

※２　合計額は、２．経費明細表「補助対象経費小計額」と一致させること。

※３　補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、ご記入ください。

※４　共同申請の場合は補助事業者ごとに作成してください。３者以上の共同申請であれば、適宜、資金調達方法の表を増やして記入してください。

**（１．から３．の各項目について記載内容が多い場合は、適宜、行数・ページ数を追加できます。）**

（様式４）

**【九州北部豪雨災害対策型】**

**支援商工会が記入**

記入日：平成　　年　　月　　日

全国商工会連合会　会長　殿

商工会名：　　　　　　　　　　　　　　印

支援担当者(確認者)所属・氏名：

平成２８年度第２次補正予算

小規模事業者持続化補助金＜九州北部豪雨災害対策型＞に係る事業支援計画書

小規模事業者持続化補助金における補助金への応募を下記の者が行うに当たり、当該応募者が採択を受けた場合、補助事業の取り組みに際し、実行支援を行います。

記

|  |
| --- |
| 支援対象事業者（事業者名称）： |
|  |

以　上

（公募要領様式５・交付要綱様式第１）

**【九州北部豪雨災害対策型】**

記入日：平成　　年　　月　　日

全国商工会連合会　会長　殿

郵便番号

住　　所

名　　称

代表者の役職・氏名　　　 　　　　印

　　　※共同申請の場合は連名で事業者名称等の記入や押印をお願いします。

平成２８年度第２次補正予算

小規模事業者持続化補助金交付申請書

　小規模事業者持続化補助金交付要綱＜九州北部豪雨災害対策型＞第６条第１項の規定に基づき、上記補助金の交付について、下記のとおり申請します。

（注）２、５、６のみ漏れなくご記入ください

記

１．補助事業の目的および内容

　　　（公募要領様式３・交付要綱別紙１）補助事業計画書のとおり

２．補助事業の開始日および完了予定日（最長で平成29年12月31日まで）

　　　交付決定日（＊平成29年7月5日まで遡及可能）～平成　　年　　月　　日

３．補助対象経費

　　　（公募要領様式３・交付要綱別紙１）補助事業計画書のとおり

４．補助金交付申請額

　　　（公募要領様式３・交付要綱別紙１）補助事業計画書のとおり

５．補助事業に関して生ずる収入金に関する事項（該当するものに○）

　（１）あり　／　（２）なし

＊「（１）あり」の場合は以下に該当事項をご記入ください。（詳細は公募要領Ｐ. 59参照。）

　　該当事項：

６．消費税の適用に関する事項（該当するもの一つに○）

　　　（１）課税事業者　／　（２）免税事業者　／　（３）簡易課税事業者

＊消費税の区分によって、補助対象経費の算定方法が異なります。詳細は公募要領P.58参照。

＊複数事業者による共同申請の場合には、税抜算定となりますので、選択不要です。（詳細は公募要領Ｐ.58参照。）

（様式６）

**【九州北部豪雨災害対策型】**

記入日：平成　　年　　月　　　日

全国商工会連合会　会長　殿

　住　　　所

名　　　称

代表者の役職・氏名　　　 　　　　　　　　　 印

※共同申請の場合は代表事業者について記入

車両購入の理由書

|  |
| --- |
| 公募要領P.43の「車両購入費」により自動車等車両を購入して販路開拓の取り組みを行おうとする場合には、以下の項目に具体的に記入のうえ、本紙を申請時に添付してください。  　また、様式３「補助事業計画書」の「経費明細書」に、必ず購入しようとする自動車等車両を計上してください。（申請時の本紙の提出および「経費明細書」への計上がない場合、採択・交付決定後の変更承認手続により事後に補助対象経費に加えることはできません。） |

|  |
| --- |
| 1.補助事業の遂行にあたって車両の購入が必要不可欠な理由 |
| 2.補助事業における当該車両の具体的な使用内容 |
| 車両を購入したい場合には、下欄に購入を予定している車のメーカー名・車種等を記載するとともに、当該車両の見積書あるいはカタログ等を添付すること（＊採択を受けた後、購入する車種を変更しようとする場合は、必ず事前に補助金事務局にご相談ください。事前相談なく見積書等と異なる車を購入した場合には、補助対象外となります。）  **■新車・中古車の別**  (いずれか一方に○)  **新車／中古車**  **■ﾒｰｶｰ名：　　　　　　　　■車の種類：**  **■車名：　　　　　　　　　■排気量：** |